

○薬剤耐性菌に関するワーキンググループ（第7回）（公開）

日時：平成28年10月14日（金）14：00～15：52

議事概要：

（1）家畜に使用する硫酸コリスチン*に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価について

・ 審議の結果、

○ 硫酸コリスチンが、動物用医薬品又は飼料添加物として家畜に使用された結果としてハザードが選択され、これらの家畜由来の畜産食品を介してヒトがハザードに暴露され、ヒト用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定できず、総合的にリスクを推定した結果、リスクの程度は中等度であると考えた。

○ なお、今回、ハザードの特定において、サルモネラについて現時点でリスク評価に必要な知見が十分にあるとは言えないことから、大腸菌のみをハザードとしてリスク評価を行った。大腸菌についても、詳細な科学的な知見や情報が必ずしも十分ではなかった。また、薬剤耐性決定因子をはじめとした新たな耐性機構及びその影響については、国際的にも未だ十分な情報が得られていないと考えるため、国内外における検討状況等を含め新たな科学的知見・情報の収集が必要である。

とすることが了承され、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

* ポリペプチド系抗生物質で、動物用医薬品として子牛及び子豚の細菌性下痢症の治療並びに飼料添加物として鶏、豚及び牛の飼料に使用されています。